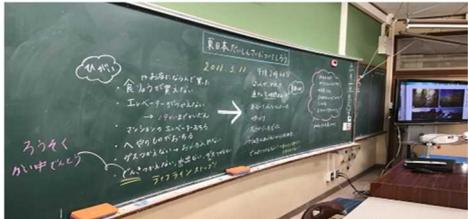


学校名 [片平丁小学校] 氏名 [金山奈央] [小]学校 [1・2・3] 年版 単元名 [東日本だいしんさいについてしろう] P4～7 教科・領域名 [学級活動] [時間 45分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導上の留意点・指導の実際
【ねらい】 東日本だいしんさいがどのようなものだったのか知る。 (東日本大震災風化防止のための取り組み)	【指導にあたって】 東日本大震災を経験したことがない児童たちなので、事前に各家庭で親にインタビューを行った。
【事前の活動】 自分がアナウンサーになってお家の人から東日本大震災の話を聞く ※別紙参照	・各家庭によって事情があるので、事前に学年便りで注意事項等を知らせた。
1 被災地で撮影した写真を見る 副読本 P4～7 (児童の反応) ・町がめちゃくちゃだ・・・ ・体育館もぎゅうぎゅうだね	・写真を見るにあたり、見たくないと思ったら見なくてもよいことを伝えた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">東日本だいしんさいについてしろう</div>	
2 各家庭で調べてきたことを共有する (グループ活動) 	・各グループで、一人ずつ調査してきた内容と調べてみての感想を。聞いている児童には、自分が聞いてきたことと比べながら聞くように指示をした。(似ていたこと、初めて聞いたこと) ・津波の被害が大きかったことをおさえた。 ・ 板書 各グループででた内容をまとめた。
3 全体で共有する (児童の反応) ・いつも通りの生活がなくなったんだね ・津波も怖いな。 ・二度と起こらないでほしいな。	
4 東日本大震災のことを改めて聞いてみての感想やこれから気をつけたいことを改めて振り返る	※別学級では「あの日の子どもたち」を読んでまとめとした。
【準備物】 副読本 インタビュー用紙 【学習形態】 グループ・一斉 【副読本以外の資料の効果】 震災の被害をほとんど知らない児童が多かったため、親へのインタビューをもとに想像させたことは有効であったと考える。	